

# 総合教育センターだより

第80号

平成18年3月

## 確かな指導力と自ら学び続ける意欲を高揚

特集 平成18年度の研修講座の紹介

### 学校と教職員のニーズに応える

#### 指導力量を高める

- 参加体験型の研修を通して「授業実践力」等の実践的指導力の向上—
- 学びの基盤としての国語力の向上—

#### 専門性を磨く

- 大学との連携講座の拡充—
- 個性伸長のための「選択講座」の拡大—

#### 次代を担う教員の資質能力の向上を図る

- 若手教職員の育成と指導者層の養成の視点—

上記の3点は、平成18年度研修講座を構想する際に最も大切にしたい視点です。これらをもとに「まなび教育推進プラン」や「指導の重点」等を踏まえ、実践的指導力の向上を図る参加体験型の研修を始め教職員の個性伸長、得意分野づくりを支援する多様な研修や指導者層を養成する研修を実施します。

#### 目

平成18年度研修講座の主な改編概要	2
講座運営の改善概要	3
若手教職員の増加への対応	4
次代を担う指導者層の養成	6
「まなび教育推進プラン」への積極的な対応	8

#### 次

専門研修講座の充実	10
「授業実践力」を中心とした実践的指導力の向上	14
ITを活用した新しい研修システムの導入	14
ITEC教育コンテンツの紹介	15
平成17年度の研究事業について	16

# I 平成18年度研修講座の主な改編概要

経験年数	主  な  改  編	新規	改編	参照頁
初任	<b>基本研修</b> 初任者・新規採用者研修 勤務校研修との連携 ◎講座内容のモジュール化による柔軟な構成 ・校内での教育実践とセンター研修の効果的連携による実践的指導力の育成 ◎全ての受講者が模擬授業を実施 ◎担任制の導入			4
2年 ～ 5年	教職経験2～5年目研修 ◎2、3、5年目研修の統合と実践的指導力の育成 ・必修と選択による多様な講座構成 ・実践につながる多様なニーズを踏まえた新設48講座から選択 ・利便性向上（同一講座を北部でも実施） 2年目、3年目、5年目教職員必修 4年目教職員の選択受講可能			5
10年	10年期研修 (必修講座) ・ 共通講座 ・ 社会体験活動講座 ・ 小中・生徒指導講座(局実施)			13
	<b>専門研修</b> ◎選択制の拡充と個性伸長や得意づくり推進 ◎大学連携講座の拡充 (教科) 新たに中学校教員にも対象拡大 (領域) 新規開講 (3講座) 10年期研修選択講座 専門研修講座として受講可能			10 13
	<b>指導者養成研修</b> 次代を担う指導者層の養成 ◎校内研修等における授業研究の活性化の支援 ◎教育相談活動をコーディネートする力量の養成 ◎ITを活用した授業の充実			6 7
	<b>英語eラーニング</b> ITを活用した新しい研修システムの導入			14

指導力量を高める  
・ 専門性を磨く  
・ 次代を担う教員の資質能力の向上を図る

I  
T  
E  
C  
活  
用

## Ⅱ 講座運営の改善概要

### 受講者のニーズに対応した講座運営

- 参加体験型講座の拡充
  - ・ 模擬授業の実施や具体的なテーマに基づく演習、意見の交流等を重視する講座の拡充
- 受講しやすい講座の拡充
  - ・ センターと北部研修所での同一講座の拡充
  - ・ テレビ会議システムによる同時研修の拡充
  - ・ 半日講座の拡充
  - ・ 教育局管内での開講

### ITECの活用 ー効率的・効果的な講座実施と積極的な情報発信ー

#### 講座での活用

- 講座の諸連絡
- 事前に関連資料の提供
- 講座の課題の提示
- 講座で開発された教材・教具等の情報提供

#### 積極的な情報発信

- 研修講座実施要項
- 教材教具等の教育コンテンツ
- 教育資料
- 研修テキスト（PDF版）等

#### ITEC上でのユーザー名、パスワードについて

ITEC上のサイトによっては、ユーザー名、パスワードの入力が必要な場合があります。

なお、[www2.kyoto-be.ne.jp/ed-center/](http://www2.kyoto-be.ne.jp/ed-center/) で始まる内部ホームページ（京都みらいネットワーク内で接続されたパソコン）の場合、ユーザー名、パスワードの入力は不要です。

### 気象警報発令時の研修講座の取扱い

- ◎ 気象警報発令時も原則として研修講座を実施しますが、講座を中止する場合、遅くとも実施日の午前6時までには下記の方法でお知らせします。
    - インターネットから <http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/>
    - 携帯電話から <http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/m/>
    - 電話から 075-612-3493 又は 075-612-3496
- 詳しくは、「講座の概要」をお読みください。

## 若手教職員の増加への対応

新規に採用される教職員数は右表のように平成14年度以降大幅に増えています。一方、30歳代から40歳代前半までの中堅教員が少なく、加えて指導的立場にある教職員が大量に退職していく時代が始まっています。

初任者・新規採用者数の推移（人）

H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
70	39	63	220	255	254	303

若手教職員がこれからの学校の中核を担うためには、教職の基盤としての「実践的指導力」を身に付けることが大変重要です。

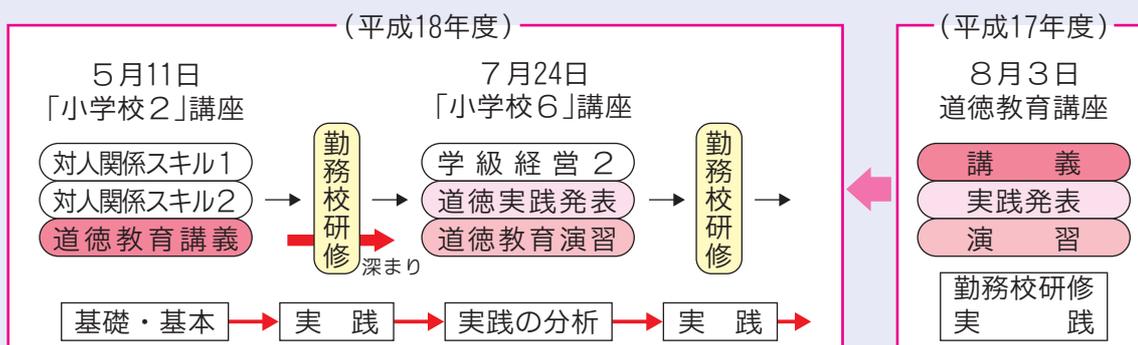
センターでは若手教職員の実践的指導力の育成に向けて、教職員研修の基本となる校内研修との連携を深め、「初任者・新規採用者研修講座」や「教職経験2～5年目研修講座」の充実を図ります。

### 初任者等研修講座

#### [ねらい]

教育実践との関連を踏まえ、勤務校研修との連携を深め、実践的指導力の育成を図ります。

#### ○ 講座の内容をモジュール化して再構成



#### [モジュール化のねらい]

- ・従来の講座の内容を精査し、効果的に再構成することで、勤務校研修と研修講座の連携を図ります。
- ・基礎的事項の研修を実践に生かし、演習等の具体的な研修を通して、実践的指導力の育成を図ります。

#### ○ 全ての受講者が模擬授業を実施、参加体験型研修の重視

－ 実践的指導力の育成を図る講座の充実 －

- ・模擬授業による授業実践力の育成
- ・保護者等とのコミュニケーション能力を身に付ける「対人関係スキル」の新設
- ・学級児童生徒の好ましい人間関係を育てる「学級経営」の新設

#### ○ 担任制の導入

－ 学校との連携を深め、一人一人の力量形成の支援 －

- ・「トークセッション」を通じた一人一人の研修状況の把握と具体的助言
- ・勤務校研修とセンター研修の連携の強化
- ・校長等連絡協議会の機能的運営